授業事例４　薬の使い方を考えよう

【所 要 時 間】 約４０分

【授業の概要】 前半で薬に関する基本的なルールを学び、後半は事例をもとに問題を解きながら薬の使い方について考えていく授業

【授業の特徴】 薬の説明書を見て必要な情報を読み取りつつ、ワークシートを活用し、児童自ら考えながら進められる授業

児童に伝えること

- 薬を服用する上での基本的なルールを教える。
- 病気になりにくい健康な体を作るには食事、運動、睡眠が大切であり、薬は、それでも病気になってしまったときに使うものであることを伝える。
- 薬の服用後は目的とする作用（主作用）だけでなく、期待していない好ましくない作用（副作用）が発現する可能性があることを伝える。
- 薬は説明どおりに正しく服用しなければならないことを伝えるとともに、用法用量や副作用の情報を、説明書からどのように読み取ればいいのかを教える。

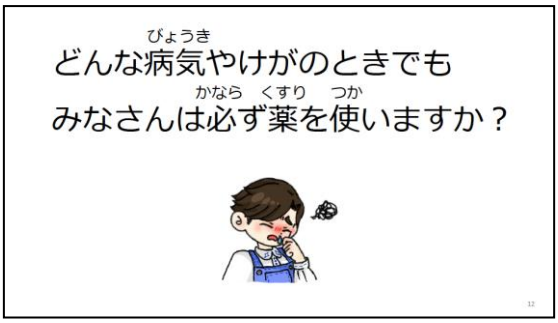
この授業のねらい

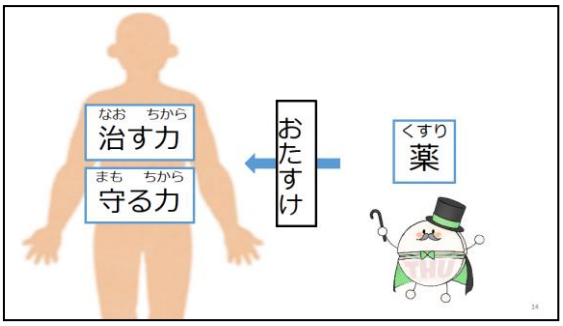
- 自分自身の健康は、規則正しい生活によって守れることを知る。
- 薬を服用する上での基本的なルールについて学び、用法用量等を守って正しく薬を服用してもらう。
- 薬を飲んだ後に違和感を覚えたら、すぐに周りの大人に相談できるようになる。

	授業内容とポイント
導入	**※この事例では、「カゼオクスーリ」と「イノクスリ」の説明書、ワークシートを使用しますので、児童に配布してください。** **1　薬を服用する際は、説明書を読まなければならないことを学ぶ。** ○薬には正しく服用するためのルールがあることを説明する。 ○説明書には、薬を服用するときのルールや、必要な情報が書いてあることを説明する。 ○カゼオクスーリの説明書から、児童に用法用量を読み取ってもらうとともに、副作用の記載について説明する。 最初は説明書を上手く読めなくても、説明が書いてあったり、説明書があるということを知ってもらうのが大切です。

展開

2　健康維持の主体は薬ではなく、自分自身であることを学ぶ。





3　自分自身が持っている治す力と守る力を高めるために必要なことを考える。

【問題１】病気になりにくい健康な体を作るために、必要なことはなんですか？

→　回答例：バランスのいい食事、睡眠、休養、運動、手洗いうがい、早寝早起き等

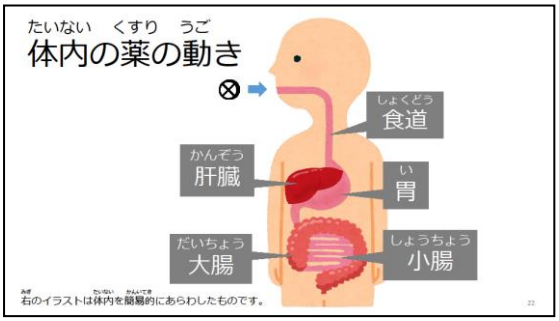
ここでは色々なアイデアが出てくることが想定されます。
児童個々の意見を尊重して、発言しやすい雰囲気を作りましょう！

4　事例をもとに、薬を服用する上でのルールについて考えていく。

【問題２】食後に飲む薬を、食事の前に飲んでもいいですか？（○ or ×）

→　回答：×

○薬の用法を守らなければならない理由を説明する。



【問題３】お医者さんに処方してもらった薬と一緒に、ドラッグストアで買ったかぜ薬を飲んでもいいですか？（○ or ×）

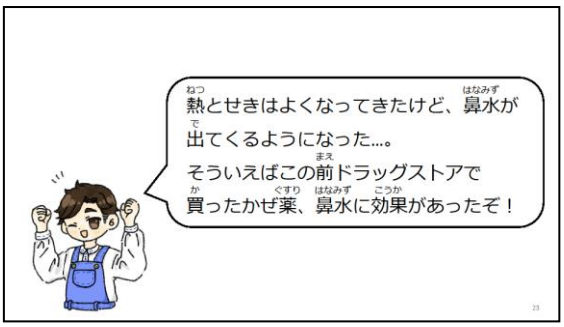
→　回答：×

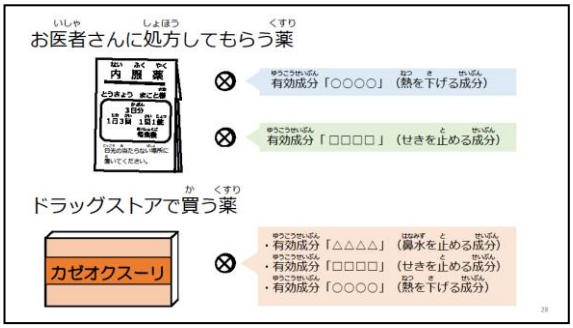
○医療用医薬品と市販薬の違いを説明する。

・医療用医薬品は医師の診察を受けた上で各症状に特化した治療を行うため、１つの薬に１つの有効成分が含まれていることが多いこと。

・市販薬は幅広い症状の人が使用するため、１つの薬に複数の有効成分が含まれていることが多いこと。

○市販薬には複数の有効成分が含まれているため、医療用医薬品と併用することで同一成分や類似成分を過剰に摂取してしまう可能性があることを説明する。

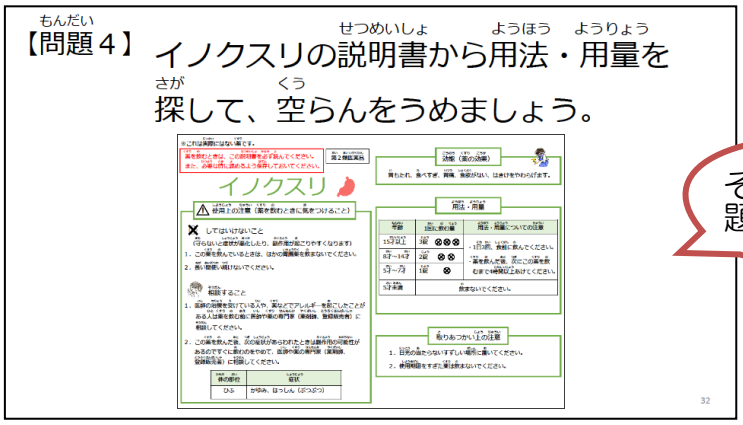




5　イノクスリの説明書を用いて、前半部分で学んだ薬の説明書の読み方を復習する。

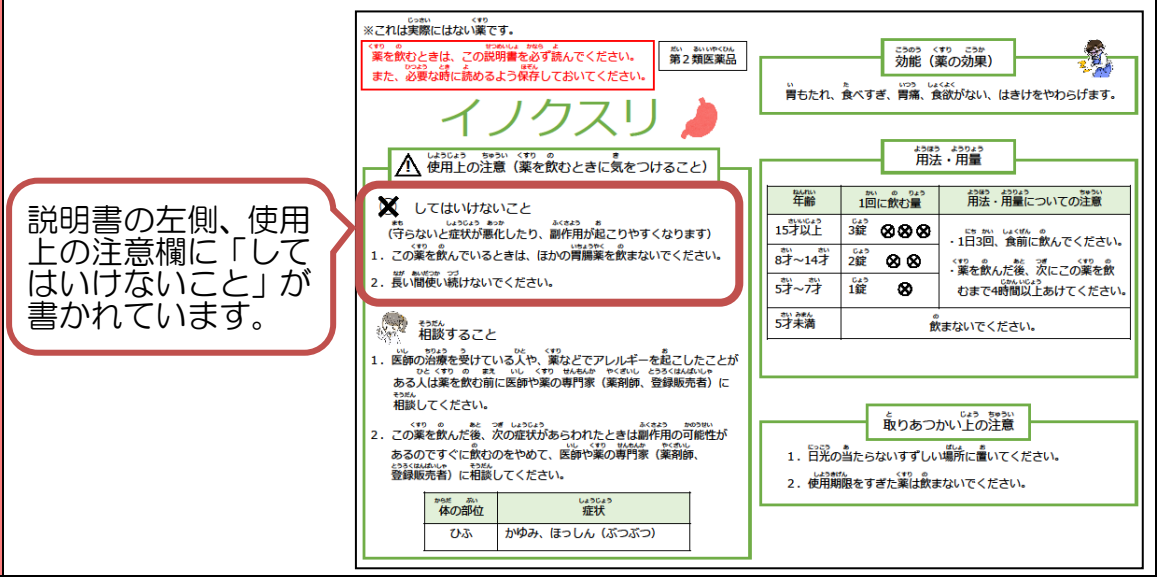
【問題４】イノクスリの説明書から用法・用量を探して、空らんをうめましょう。

→　回答：<用法> この薬は１日３回、食事の前に飲みます。
　　<用量> この薬は１回に２錠飲みます。



【問題５】イノクスリの説明書から、この薬を飲むときにしてはいけないことを探して、ワークシートに書きましょう。

→　回答：ほかの胃腸薬を飲まない、長い間使い続けない等



まとめ	**6　授業内容のおさらいをする。** ・自分自身が持っている治す力と守る力を高めるために、食事・運動・睡眠が大切であること。 ・薬を飲むときには説明を読み、用法や用量等のルールを守ること。 ・薬の服用後、違和感を覚えたら大人に相談すること。

ミナ先生のOne Point Advice

★授業で学んだことをお家の人と共有してもらおう！

児童に医薬品への理解を深めてもらうための授業ですが、小学生のうちはやはりお家の人と一緒に医薬品を飲むことが多いと思います。
授業で学んだことを共有してもらうことで、お家の人と同じ認識を持てるだけでなく、お家の人にも薬のことを考えてもらうきっかけになるので、「今日勉強したことはお家の人にも話してみてください。」等と声掛けしてみましょう！

また、このホームページに掲載している「健康と薬の６か条」は、印刷して児童に配布できるようになっています。
配布物があるとお家の人の目に留まりやすかったり、どのようなことを勉強したかがわかりやすいと思うので、是非有効活用してください。

学校薬剤師　タカ先生からのメッセージ

私は学校薬剤師として活動する中で、薬物乱用防止教育の重要性を強く感じています。
医薬品の正しい使い方や違法薬物の危険性を理解してもらうことで、子供たちの将来を守ることにつながると信じております。

学校には学校薬剤師が配置されています。もし、講義をされる方がこの資料を手にして子供たちに医薬品や違法薬物に関する正しい知識をどう伝えようか迷ったら学校薬剤師に声をかけてみてください。
効果的な指導方法を一緒に考えてくれるかと思います。

この資料を活用していただくことで、子供たちが安全で健全に成長できる環境を築く手助けになれば幸いです。